

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ オーストラリア債券ファンド（年1回決算型）」は、2024年2月20日に第9期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2026年2月20日まで	
運用方針	・「インベスコ オーストラリア債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての公社債等に投資を行うことにより、中長期的に安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行います。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要運用対象	インベスコ オーストラリア債券ファンド（年1回決算型）	「インベスコ オーストラリア債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ オーストラリア債券マザーファンド	豪ドル建ての公社債等を主要投資対象とします。
組入制限	インベスコ オーストラリア債券ファンド（年1回決算型）	・株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	インベスコ オーストラリア債券マザーファンド	・株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として年1回の毎決算時（2月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



## インベスコ オーストラリア債券ファンド （年1回決算型）

追加型投信／海外／債券



## 運用報告書（全体版）

第9期

（決算日 2024年2月20日）

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index)(円換算ベース)		債券組入比率	純資産額
		税金	み	(参考指数)	騰落率		
	円		円			%	百万円
5期(2020年2月20日)	10,085		0		10,418	2.1	68
6期(2021年2月22日)	11,247		0		11,598	11.3	63
7期(2022年2月21日)	10,521		0	△ 6.5	11,061	△ 4.6	67
8期(2023年2月20日)	10,828		0	2.9	11,606	4.9	55
9期(2024年2月20日)	11,688		0	7.9	12,618	8.7	56

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) を掲載しています。当該参考指数は、計算日の前営業日のブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (オーストラリアドルベース) に計算日のオーストラリアドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値) を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。以下、同じです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index)(円換算ベース)		債券組入比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2023年2月20日	円	%		%	%
	10,828	—	11,606	—	99.4
2月末	10,735	△0.9	11,517	△0.8	99.0
3月末	10,788	△0.4	11,619	0.1	98.8
4月末	10,727	△0.9	11,542	△0.6	98.7
5月末	10,807	△0.2	11,625	0.2	99.8
6月末	11,230	3.7	12,074	4.0	99.6
7月末	10,977	1.4	11,813	1.8	99.4
8月末	11,125	2.7	11,967	3.1	99.0
9月末	11,103	2.5	11,939	2.9	99.1
10月末	10,765	△0.6	11,634	0.2	99.1
11月末	11,366	5.0	12,270	5.7	99.3
12月末	11,643	7.5	12,556	8.2	99.4
2024年1月末	11,560	6.8	12,479	7.5	99.7
(期末) 2024年2月20日	11,688	7.9	12,618	8.7	98.5

(注) 基準価額は1万円当たりです。

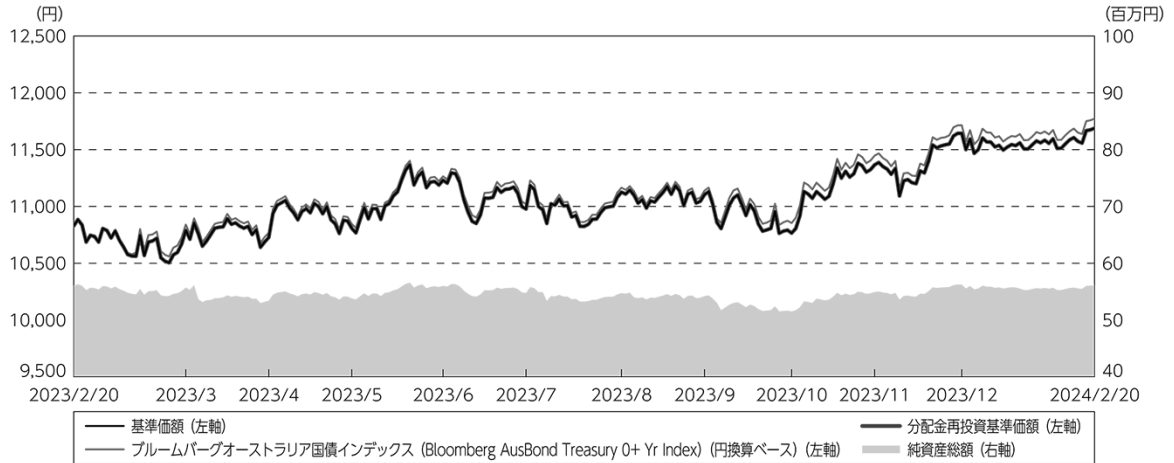
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2023年2月21日～2024年2月20日)



期首：10,828円

期末：11,688円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 7.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、期首(2023年2月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。

## ○基準価額の変動要因

## [上昇要因]

- ・オーストラリアドル建ての公社債などを実質的な主要投資対象としているため、実質的に保有する債券からのインカムゲイン(利息収入)が基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、オーストラリアドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## [下落要因]

- ・幅広い年限で金利が上昇(債券価格は下落)したことが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

## ＜オーストラリア国債利回り＞

2年 3.84%（前期末3.53%）	5年 3.80%（同3.62%）	10年 4.18%（同3.81%）
--------------------	------------------	-------------------

## ＜対円為替レート＞

オーストラリアドル／円 98円21銭（前期末92円33銭）

※上記は当期末の数値です。

## ＜債券市場＞

当期のオーストラリア金利を5年国債利回りの動きで見ると、金利は上昇しました。

期初にかけては、オーストラリア準備銀行（RBA）の総裁がインフレ率はピークを打った可能性が高いと示唆したことなどから金利は低下（債券価格は上昇）しました。その後、RBAが利上げを再開したことや米国での金融引き締め政策の長期化観測などにより米国国債利回りが上昇したことなどを受け、オーストラリアの国内金利も上昇に転じました。2023年11月頃から期末にかけては、RBAが追加利上げに慎重な姿勢を示したことや米国国債利回りが低下したことなどを背景に、金利は低下基調で推移しました。期を通してみると、期末のオーストラリア5年国債利回りは、前期末に比べて上昇し3.79%となりました。

## ＜為替市場＞

当期のオーストラリアドルは、対円で上昇しました。

期初は、オーストラリア国内の金利が低下基調で推移したことなどからオーストラリアドルは対円で下落しました。2023年4月下旬から6月末頃までは、RBAが利上げを再開し、金利が上昇したことなどからオーストラリアドルは対円で上昇に転じました。その後、日銀による長短金利操作（イールドカーブ・コントロール、YCC）の修正発表や日銀正副総裁による金融政策正常化に関する発言などを受けて、一時的にオーストラリアドルは対円で下落する展開もありましたが、日銀が金融緩和政策を維持したことなどから、期を通して円が売られやすい展開となり、オーストラリアドルは対円で上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主として、インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、オーストラリアドル建ての公社債などに投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築しました。

デュレーション戦略では、期初から2023年3月末までは参考指数並みとするポジションをとりました。その後一時的に参考指数に対しアンダーウェイトとしましたが、4月末から再び参考指数並み、5月末から10月末までは参考指数に対しオーバーウェイトとするポジションをとりました。11月からは再び参考指数並みとするポジションに変更しました。

信用格付けは、期を通じてAAA格、AA格など信用格付けの高い債券を中心に運用を行いました。種別配分では社債、地方債の組み入れを機動的に変化させながら非国債の組み入れを維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当期の分配金再投資基準価額騰落率は+7.9%となり、参考指数であるブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) の騰落率+8.7%を下回る結果となりました。

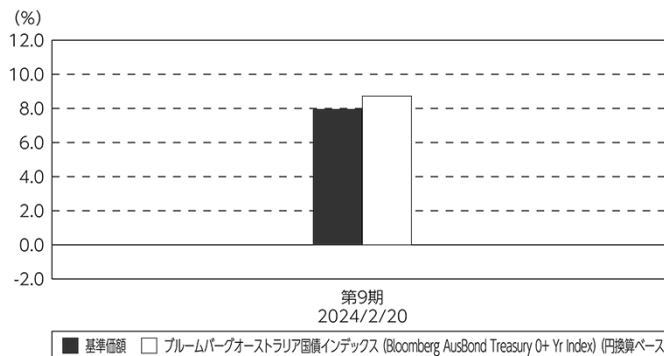
### [プラス要因]

- ・信用スプレッドが縮小傾向となる中、投資適格社債や政府関連債をオーバーウェイトとしたことがプラス寄与となりました。

### [マイナス要因]

- ・金利が上昇する局面において、デュレーション戦略で参考指数に対し小幅にオーバーウェイトとする戦略をとっていたことがマイナス要因となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第9期
	2023年2月21日～ 2024年2月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,166

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

主としてマザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じてオーストラリアドル建ての公社債などに投資を行います。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。

中央銀行であるRBAは、2024年2月6日の金融政策決定会合で政策金利を4.35%に据え置くことを決定しました。世界的にインフレがピークアウトし、金融市場では欧米の中央銀行による利下げ観測が広がっています。しかしながら、両行ともしばらくは政策金利を高めに維持する方針を表明していることから、今後も金利動向に反応しやすい状況が継続すると思われる。このような環境下、ポートフォリオのデュレーションは、参考指数対比で同程度とするポジションにて運用を開始する方針です。また、引き続き社債を中心とする非国債への配分を継続する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

（2023年2月21日～2024年2月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	146	1.320	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 67 ）	（ 0.605 ）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 73 ）	（ 0.660 ）	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 6 ）	（ 0.055 ）	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	14	0.125	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 2 ）	（ 0.015 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 3 ）	（ 0.030 ）	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	（ 9 ）	（ 0.079 ）	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.000 ）	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	160	1.445	
期中の平均基準価額は、11,068円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

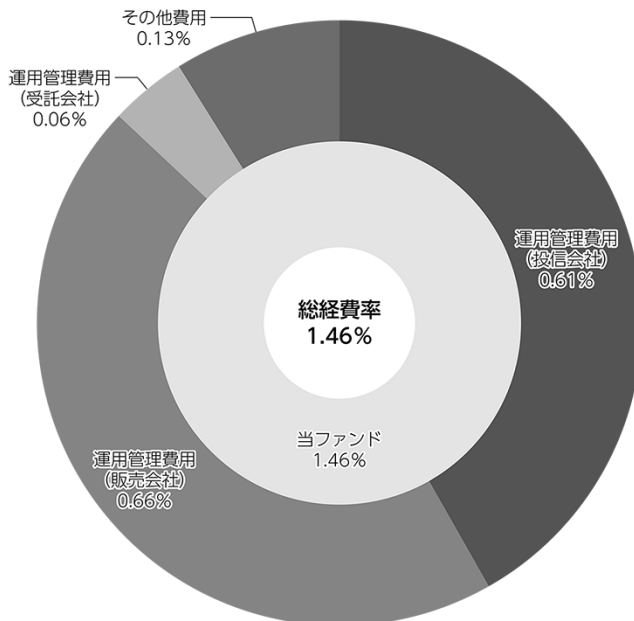
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## （参考情報）

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

（2023年2月21日～2024年2月20日）

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド	千口 637	千円 1,934	千口 2,257	千円 6,790

（注）単位未満は切捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

（2023年2月21日～2024年2月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2024年2月20日現在）

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド	千口 18,904	千口 17,284	千円 56,500

（注）単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

（2024年2月20日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド	千円 56,500	% 100.0
投資信託財産総額	56,500	100.0

（注）金額の単位未満は切捨てています。

（注）インベスコ オーストラリア債券 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（14,122,080千円）の投資信託財産総額（14,132,036千円）に対する比率は99.9%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年2月20日における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=98.21円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年2月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	56,500,394
インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド(評価額)	56,500,394
(B) 負債	391,605
未払信託報酬	361,600
その他未払費用	30,005
(C) 純資産総額(A－B)	56,108,789
元本	48,005,967
次期繰越損益金	8,102,822
(D) 受益権総口数	48,005,967口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,688円

<注記事項>（当運用報告書作成時点では監査未了です。）

（貸借対照表関係）

期首元本額	51,707,879円
期中追加設定元本額	1,768,605円
期中一部解約元本額	5,470,517円

## ○損益の状況（2023年2月21日～2024年2月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	4,887,683
売買益	4,976,935
売買損	△ 89,252
(B) 信託報酬等	△ 780,117
(C) 当期損益金(A+B)	4,107,566
(D) 前期繰越損益金	3,589,041
(E) 追加信託差損益金	406,215
(配当等相当額)	( 2,527,192)
(売買損益相当額)	(△2,120,977)
(F) 計(C+D+E)	8,102,822
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	8,102,822
追加信託差損益金	406,215
(配当等相当額)	( 2,529,850)
(売買損益相当額)	(△2,123,635)
分配準備積立金	7,868,737
繰越損益金	△ 172,130

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 運用の指図に係る権限を委託するための費用として、委託者が受ける報酬の40%の金額を、(B)信託報酬等のうちの委託者報酬の中から支払っています。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。  
 計算期間末における費用控除後の配当等収益（1,229,220円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定する収益調整金（2,529,850円）および分配準備積立金（6,639,517円）より分配対象収益は10,398,587円（1万口当たり2,166円）となりましたが、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

## ○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。

## 運用報告書

## 第21期

決算日 2024年2月20日

(計算期間：2023年2月21日から2024年2月20日まで)

運用方針	①豪ドル建ての公社債の中から、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付等を総合的に勘案して選定した銘柄に投資を行います。 ②運用にあたっては、経済と市場価格の関係を調査・分析し意思決定を行うアクティブ運用を行います。調査・分析は、ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用します。 ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	豪ドル建ての公社債等を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) (参考指数)		債組入比率	純資産額
	騰落	率	騰落	率		
	円	%		%	%	百万円
17期(2020年2月20日)	26,661	3.9	25,917	2.1	94.4	27,397
18期(2021年2月22日)	30,105	12.9	28,852	11.3	98.7	24,337
19期(2022年2月21日)	28,583	△ 5.1	27,518	△ 4.6	99.1	18,250
20期(2023年2月20日)	29,842	4.4	28,873	4.9	98.6	15,696
21期(2024年2月20日)	32,688	9.5	31,391	8.7	97.8	14,121

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) を掲載しています。当該参考指数は、計算日の前営業日のブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (オーストラリアドルベース) に計算日のオーストラリアドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値) を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。以下、同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) (参考指数)		債組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首) 2023年2月20日	円	%		%	%
	29,842	—	28,873	—	98.6
2月末	29,596	△0.8	28,652	△0.8	99.0
3月末	29,778	△0.2	28,903	0.1	98.7
4月末	29,650	△0.6	28,713	△0.6	98.4
5月末	29,909	0.2	28,919	0.2	99.4
6月末	31,113	4.3	30,037	4.0	99.1
7月末	30,453	2.0	29,387	1.8	98.8
8月末	30,908	3.6	29,770	3.1	99.0
9月末	30,884	3.5	29,701	2.9	98.9
10月末	29,984	0.5	28,942	0.2	98.8
11月末	31,692	6.2	30,524	5.7	98.9
12月末	32,496	8.9	31,236	8.2	98.9
2024年1月末	32,309	8.3	31,043	7.5	99.1
(期末) 2024年2月20日	32,688	9.5	31,391	8.7	97.8

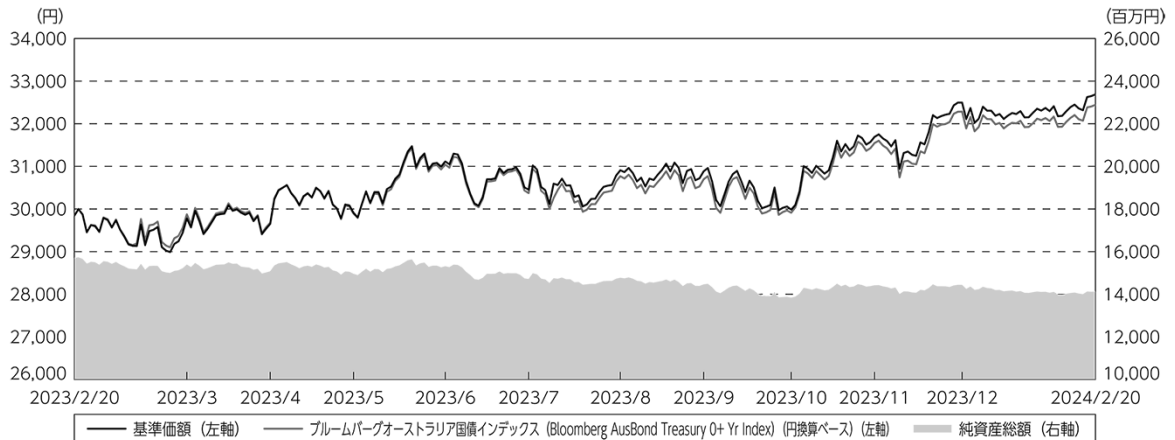
(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年2月21日～2024年2月20日)



期首：29,842円  
 期末：32,688円  
 騰落率：9.5%

(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、期首 (2023年2月20日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・オーストラリアドル建ての公社債などを主要投資対象としているため、保有する債券からのインカムゲイン (利息収入) が基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、オーストラリアドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・幅広い年限で金利が上昇 (債券価格は下落) したことが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

## ＜オーストラリア国債利回り＞

2年 3.84%(前期末3.53%)      5年 3.80%(同3.62%)      10年 4.18%(同3.81%)

## ＜対円為替レート＞

オーストラリアドル／円 98円21銭（前期末92円33銭）

※上記は当期末の数値です。

## ＜債券市場＞

当期のオーストラリア金利を5年国債利回りの動きで見ると、金利は上昇しました。

期初にかけては、オーストラリア準備銀行（RBA）の総裁がインフレ率はピークを打った可能性が高いと示唆したことなどから金利は低下（債券価格は上昇）しました。その後、RBAが利上げを再開したことや米国での金融引き締め政策の長期化観測などにより米国国債利回りが上昇したことなどを受け、オーストラリアの国内金利も上昇に転じました。2023年11月頃から期末にかけては、RBAが追加利上げに慎重な姿勢を示したことや米国国債利回りが低下したことなどを背景に、金利は低下基調で推移しました。期を通してみると、期末のオーストラリア5年国債利回りは、前期末に比べて上昇し3.79%となりました。

## ＜為替市場＞

当期のオーストラリアドルは、対円で上昇しました。

期初は、オーストラリア国内の金利が低下基調で推移したことなどからオーストラリアドルは対円で下落しました。2023年4月下旬から6月末頃までは、RBAが利上げを再開し、金利が上昇したことなどからオーストラリアドルは対円で上昇に転じました。その後、日銀による長短金利操作（イールドカーブ・コントロール、YCC）の修正発表や日銀正副総裁による金融政策正常化に関する発言などを受けて、一時的にオーストラリアドルは対円で下落する展開もありましたが、日銀が金融緩和政策を維持したことなどから、期を通して円が売られやすい展開となり、オーストラリアドルは対円で上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主として、オーストラリアドル建ての公社債などに投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築しました。

デュレーション戦略では、期初から2023年3月末までは参考指数並みとするポジションをとりました。その後一時的に参考指数に対しアンダーウェイトとしましたが、4月末から再び参考指数並み、5月末から10月末までは参考指数に対しオーバーウェイトとするポジションをとりました。11月からは再び参考指数並みとするポジションに変更しました。

信用格付けは、期を通じてAAA格、AA格など信用格付けの高い債券を中心に運用を行いました。種別配分では社債、地方債の組み入れを機動的に変化させながら非国債の組み入れを維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+9.5%となり、参考指数であるブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) の騰落率+8.7%を上回る結果となりました。

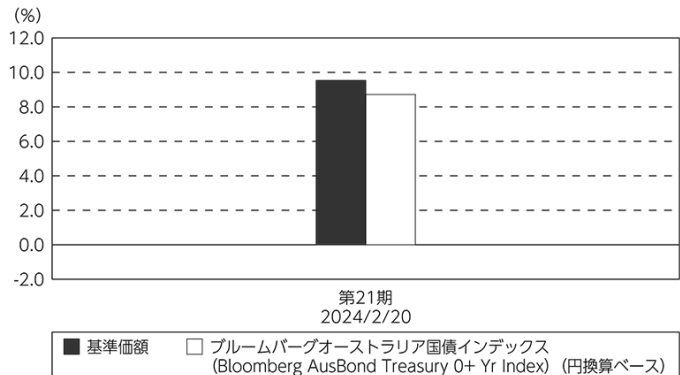
### [プラス要因]

- ・信用スプレッドが縮小傾向となる中、投資適格社債や政府関連債をオーバーウェイトとしたことがプラス寄与となりました。

### [マイナス要因]

- ・金利が上昇する局面において、デュレーション戦略で参考指数に対し小幅にオーバーウェイトとする戦略をとっていたことがマイナス要因となりました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。

## ○今後の運用方針

---

主として、オーストラリアドル建ての公社債などに投資を行います。また、外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。

中央銀行であるRBAは、2024年2月6日の金融政策決定会合で政策金利を4.35%に据え置くことを決定しました。世界的にインフレがピークアウトし、金融市場では欧米の中央銀行による利下げ観測が広がっています。しかしながら、両行ともしばらくは政策金利を高めに維持する方針を表明していることから、今後も金利動向に反応しやすい状況が継続すると思われれます。このような環境下、ポートフォリオのデュレーションは、参考指数対比で同程度とするポジションにて運用を開始する方針です。また、引き続き社債を中心とする非国債への配分を継続する方針です。



○当ファンドのデータ

(2024年2月20日現在)

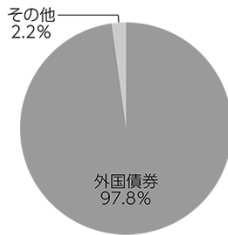
【組入上位10銘柄】

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	オーストラリア国債 2.5% 2030/5/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	10.9
2	ニューサウス・ウェールズ州債 4% 2026/5/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.9
3	オーストラリア国債 1% 2030/12/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.9
4	南オーストラリア州債 3% 2026/7/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.1
5	オーストラリア国債 3.25% 2025/4/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	4.8
6	クイーンズランド州債 1.75% 2031/8/21	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	4.0
7	オーストラリア国債 2.75% 2029/11/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	3.3
8	オーストラリア国債 1.25% 2032/5/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.8
9	ニューサウス・ウェールズ州債 2.25% 2041/5/7	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.8
10	オーストラリア国債 2.75% 2035/6/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.7
	組入銘柄数			38銘柄	

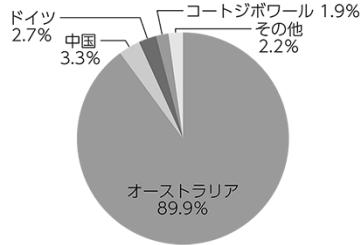
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国（地域）につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

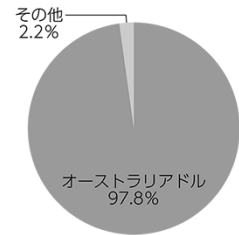
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月21日～2024年2月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	円 5	% 0.015	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用 )	(5)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( その他 )	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合計	5	0.015	
期中の平均基準価額は、30,731円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月21日～2024年2月20日)

公社債

			買付額	売付額
			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
外国	オーストラリア	国債証券	7,866	22,459
		地方債証券	3,690	16,438
		特殊債券	1,991	—
		社債券(投資法人債券を含む)	—	1,948

(注) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注) 単位未満は切捨てています。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれていません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月21日～2024年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 160,600	千オーストラリアドル 140,637	千円 13,811,990	% 97.8	% —	% 60.0	% 24.2	% 13.6
合 計	160,600	140,637	13,811,990	97.8	—	60.0	24.2	13.6

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額(評価額)の比率です。

(注) 信用格付については、原則として価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 時価については、原則として金融商品取引業者、外国証券会社および価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
国債証券	オーストラリア国債	3.25	7,000	6,940	681,659	2025/4/21	
	オーストラリア国債	2.75	5,000	4,708	462,385	2029/11/21	
	オーストラリア国債	2.5	17,000	15,655	1,537,541	2030/5/21	
	オーストラリア国債	1.0	12,000	9,869	969,280	2030/12/21	
	オーストラリア国債	1.25	5,000	4,005	393,348	2032/5/21	
	オーストラリア国債	3.0	1,000	906	89,014	2033/11/21	
	オーストラリア国債	2.75	4,500	3,902	383,299	2035/6/21	
	オーストラリア国債	2.75	4,000	3,179	312,248	2041/5/21	
	オーストラリア国債	3.0	4,000	3,118	306,219	2047/3/21	
地方債証券	豪州首都圏特別地域債	2.25	2,000	1,813	178,071	2029/5/22	
	ニューサウス・ウェールズ州債	2.25	6,000	3,975	390,411	2041/5/7	
	ニューサウス・ウェールズ州債	4.0	10,000	9,986	980,788	2026/5/20	
	クイーンズランド州債	1.75	7,000	5,802	569,865	2031/8/21	
	クイーンズランド州債	1.75	5,000	3,754	368,685	2034/7/20	
	南オーストラリア州債	3.0	9,000	8,782	862,549	2026/7/20	
	南オーストラリア州債	1.75	4,000	3,215	315,807	2032/5/24	
	TREASURY CORP ビクトリア州債	1.5	2,000	1,607	157,839	2031/9/10	
	TREASURY CORP ビクトリア州債	2.0	4,000	2,933	288,052	2035/9/17	
	TREASURY CORP ビクトリア州債	2.4	1,500	869	85,392	2050/8/18	
	ビクトリア州債	2.5	3,000	2,726	267,747	2029/10/22	
	ビクトリア州債	1.5	3,000	2,481	243,673	2030/11/20	
	ビクトリア州債	2.25	3,500	2,709	266,129	2034/11/20	

# インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
特殊債券 (除く金融債)	AFRICAN DEVELOPMENT BANK	1.1	3,000	2,738	268,974	2026/12/16	
	ASIAN INFRASTRUCTURE INV	1.0	3,000	2,780	273,034	2026/5/6	
	ASIAN INFRASTRUCTURE INV	4.0	2,000	1,954	191,941	2028/5/17	
	欧州投資銀行	0.75	2,000	1,776	174,452	2027/7/15	
	欧州投資銀行	1.3	3,000	2,388	234,599	2031/1/27	
	KFW	3.2	4,000	3,894	382,473	2026/9/11	
	NATIONL HOUSING FIN	2.38	2,000	1,834	180,155	2029/3/28	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	AURIZON NETWORK PTY	2.9	3,400	2,753	270,381	2030/9/2
		AUSNET SERVICES	4.2	3,000	2,861	281,052	2028/8/21
		COMMONWEALTH BANK AUST	4.2	2,000	1,986	195,084	2025/8/18
DEXUS FINANCE PTY		3.0	1,500	1,177	115,600	2032/2/3	
GENERAL PROPERTY TRUST		2.849	1,200	929	91,335	2032/2/20	
GPT WHL OFFICE FD NO1		2.525	2,000	1,904	187,003	2026/1/12	
ING BANK (AUSTRALIA)		1.45	3,000	2,951	289,899	2024/8/20	
NBN		1.0	3,000	2,803	275,321	2025/12/3	
UNIVERSITY OF SYDNEY	3.75	3,000	2,959	290,668	2025/8/28		
合 計				13,811,990			

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。

(注) 時価については、原則として金融商品取引業者、外国証券会社および価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

## ○投資信託財産の構成

(2024年2月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 13,811,990	%
コール・ローン等、その他	320,046	97.7
投資信託財産総額	14,132,036	2.3
		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産 (14,122,080千円) の投資信託財産総額 (14,132,036千円) に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年2月20日における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=98.21円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	14,192,633,362	
コール・ローン等	118,250,357	
公社債(評価額)	13,811,990,892	
未収入金	157,991,848	
未収利息	103,331,740	
前払費用	1,068,525	
(B) 負債	70,984,575	
未払金	60,825,411	
未払解約金	10,159,137	
未払利息	27	
(C) 純資産総額(A-B)	14,121,648,787	
元本	4,320,113,771	
次期繰越損益金	9,801,535,016	
(D) 受益権総口数	4,320,113,771口	
1万口当たり基準価額(C/D)	32,688円	

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	5,259,688,838円
期中追加設定元本額	15,812,308円
期中一部解約元本額	955,387,375円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ オーストラリア債券ファンド(毎月決算型)	4,302,829,020円
インベスコ オーストラリア債券ファンド(年1回決算型)	17,284,751円
合計	4,320,113,771円

○損益の状況 (2023年2月21日～2024年2月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	417,723,955	
受取利息	417,733,198	
支払利息	△ 9,243	
(B) 有価証券売買損益	906,341,219	
売買益	1,025,821,886	
売買損	△ 119,480,667	
(C) 保管費用等	△ 2,273,634	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,321,791,540	
(E) 前期繰越損益金	10,436,392,370	
(F) 追加信託差損益金	32,539,599	
(G) 解約差損益金	△ 1,989,188,493	
(H) 計(D+E+F+G)	9,801,535,016	
次期繰越損益金(H)	9,801,535,016	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。